



会員 太田垣 佳樹

2015年を振り返る

0 はじめに

年内最後のリレーエッセイを担当することになったので、気の向くままに2015年を振り返ってみようと思う。

1 ゴルフ始めました

今年は公私ともに大きな変化があった。プライベートでは、5月にゴルフを始めたのが大きな変化だった。重い腰を上げてレッスンに通い始めたのだが、いざやってみると純粋に楽しいし、何より、思っていた以上に人との繋がりが出来たことに驚いた。

ゴルフを通じて研修合宿などで先輩方と交流を深められたことは新人の私にとって大変有り難かったし、練習のために大学時代の友人と一緒にコースを回ったことで彼らとの時差（彼らは5年以上早く社会人になった）を縮められた気がしたのも、また有意義であった。夏の帰省の際には定年間近の父親とコースを回ったが、この時は、成人して一緒に酒を飲み交わした時と似た喜びがあった。

今後、お誘いいただいた諸先輩方に感謝しつつ、未永く怪我なく、色々な方とプレーしていければと思う。

ちなみに私の父方の実家は鳥取の吉岡温泉という場所にあるのだが、その温泉街から車で10分の範囲には、ゴルフ場が2つもある。このことの魅力に気付けたことも、今年の1つの収穫であった。肉も魚も美味しい地域なので、会員の皆様が挙げて訪れていただければ幸いである。

2 養子縁組しました

昨年8月のことになるが、私は、養子縁組を行い旧姓の「澤田」から改姓した。今思い出しても名義変更や印鑑の変更の手続きはとても煩雑であった。

「太田垣（おたがき）」という姓は比較的珍しく、日弁連HPによると、日本で同姓の弁護士は他に居な

いらしい。特に東京では珍しいらしく、1月の執務開始以来、裁判所も含めて数え切れないほど電話口で名前を間違えられたことは、今年の感想の1つである。

というわけで、これからの弁護士としての活動の中で、良い意味で知名度を上げ、全国の方々に聞き間違えられないようにするというのが、来年以降の私の小さな野望だったりする。（滑舌を鍛えれば良い、という指摘は心が痛むので控えてくださると助かる。）

3 執務開始から1年

私の事務所ではアソシエイトが複数のパートナーと事件を担当することもあり、この1年間で様々な分野の事件に携わった。雑多に経験を積んできた、という感覚である。

同期の中には特定の専門分野で数多くの案件を処理している弁護士も多く、隣の芝生を青く感じたことも何度かあったが、今のところ、「色々なことを知りたい」というタイプの私にとってはこの働き方が合っているように思っている。

今後もこのまま“広く深く”経験を積み、クライアントと事務所にとって使い勝手のよい弁護士になっていきたい。

4 今後の抱負

読み返すとあまり仕事の話を書いていないが、実際の生活は仕事に追われ悪戦苦闘する毎日である。執務開始初日と比べればやれることは多くなったものの、普段の業務ではまだまだ自分の未熟さを思い知らされることが多い。

仕事面では、とにかくしっかり丁寧に目の前の業務に取り組むこと。プライベートでは、人との繋がりを大切にすること。

これらを積み重ねて、1年目の成長よりもさらに大きく成長するのが、来年の抱負である。